

事業所における自己評価結果

公表日： 2025年3月3日

事業所名 つばさ園

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	0	基準を満たした面積を確保していることを、職員で毎年確認しています。	静養空間が確保できるとより良いと考えています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	0	送迎を意識した担当組みをして、人手不足を感じづらい状況作りに努めています。	送迎時や不測の事態が発生した際、不足に感じることはないように、余裕を持った配置が求められていると感じています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	0	構造化には取り組んでいると感じます。距離感を示すポスターの掲示を始めました。	バリアフリー化は不十分な箇所があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	0	備品の一部を貸し出し式に変更・使用備品の整理を行い、生活空間の整備に取り組みました。	エアコン内部の洗浄など、使用には問題ないがより快適に過ごす箇所の改善が必要と感じました。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	5	0	活動ごとに使用する部屋を分けて、逃げ場(静養空間)の確保に努めています。	「個室で、一人になりたい」という要望に、応えきれないと感じます。今以上の静養空間の確保を検討します。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	0	目標の設定には、全職員参加で取り組んでいます。必要に応じて、事業所会議でも現状の見直しと改善策の検討を行っています。	今後も全職員で、事業所の運営を行っていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	0	毎年実施し、ホームページに掲載しています。	改善案の実現は、可能な限りとなっています。より実現力をつけていけるように努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	終礼を毎日欠かさず実施し、意見などを把握するようにしています。	意見の集約から実際の支援現場への反映には、時間がかかると感じています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	1	第三者による外部評価は、現状行っておりません。行っていないことは、職員間でも共有しています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	0	全職員を対象とした研修の実施をしています。折々に事業所会議でも研修を実施しています。	視聴研修など、より参加しやすい研修の実施が求められています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	0	通常時と長期休暇時で、プログラムを変更しています。内容も、週ごとに様々な活動を提供しています。	今後のプログラムの公開にも、適切に対応したいと考えています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	0	日々の記録や支援の中で見えてきたものと、保護者様からの要望を組み合わせ、支援計画を作成しています。	客観性に関しては、常に見直す必要があると感じています。

適切な支援の提供

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	0	作成には、常勤職員を中心に複数名の意見を反映しています。中間評価には、非常勤職員も含めた事業所所属の全職員で臨んでいます。	常に、最善の利益に向かう事が出来ているか、見直す必要があると考えています。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	0	日々の利用内容を記録するファイルに挟み、いつでも目を通せるようにしています。	必ずしも計画に沿った支援だけが行われるわけではないと、感じるがあります。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	1	個人の実態を把握するために、法人用意のツール(利用者登録カード)を使っています。日々の記録など、インフォーマルなアセスメントの割合が多いことを確認しました。	利用者登録カードの記入は、保護者様にとって負担が大きいように感じています。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	0	現在発行の物は、必要な項目を満たしていることを職員間で確認しました。	現状の物は、項目を満たすことに重きが置かれているので、より個人に合わせた物の作成を目指していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	0	プログラム立案担当職員を軸に、職員間で意見を出し合っプログラムを作っています。	担当職員の負担が大きくなることのないように配慮しつつ、たくさんのアイデアを出していきたいと考えています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	0	週ごとに「課題遊び」「公園遊び」「レク」「制作」を実施しています。	雨の日の活動のバリエーションが多くなれば、よりよいと思われます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	0	集団での活動を主としながら、個別の課題も設定しています。	個々の活動に割ける時間が、充分でないと感じることがあります。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4	0	担当職員や活動プログラムは事前に設定し、出勤した職員が目を通すことが出来るようにしています。	現状、支援前に打合せをすることは難しいです。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	0	終礼を毎日必ず行っています。ノートに記録を残し、職員が情報を得ることが出来るようにしています。	長期休暇は実施することが出来ていません。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	支援後は、必ず記録を取ります。翌日に目を通し、必要な情報の把握に努めています。	記録に残しそびれることもあるので、職員間で記録の取り方の研修を行ってもよいのでは、と考えています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	0	法人内に相談支援事業所があるので、そこが実施するモニタリングに出席しています。	計画の見直しは定期的に行っているため、今後は積極的に事業所が変更を提案してはよいのではないかと感じました。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	3	0	ガイドラインの再確認を行いました。	地域との交流について、より多くの機会を設けられるとよいのでは、と意見が出ました。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	0	おやつを選択・意思表示のカード使用など、日常生活の中で選ぶ機会を意識的に取り入れています。	自己決定と表出している行動の不一致がないか、よく見極めて支援にあたる必要があるとの意見が出ました。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	0	児童発達支援管理責任者、あるいは主任指導員が参加しています。	常に、最新の状況を把握しておくことの必要性を再認識しました。

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	5	0	職員の確保など、体制自体は整えています。	あまり、機会を持っていないのが現状です。今後は積極的な連携が課題だと思われます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	0	毎日の送迎時には、担当教員からの引継ぎを受け、現場職員への伝達に努めています。	今後も、やり取りを続けていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	1	事業所の利用年齢が、小学校6年生から中学校3年生までとなっております。（そのため、就学前施設とのやり取りは、あまりありません。）	同法人内の別事業所とのやり取りを積極的に行い、情報共有に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	1	事業所の利用年齢が、小学校6年生から中学校3年生までとなっております。（そのため、卒業後施設とのやり取りは、あまりありません。）	上記と同様に、同法人内別事業所とのやり取りは積極的に行い、情報共有に努めていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	0	スーパーバイズとは何か、職員間での確認を行いました。	現状、機会を持っていないので、今後取り組んでいこうと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	2	地域の方とは積極的に挨拶を交わし、交流に努めています。	児童クラブなど、他の施設との交流は行っていない現状です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	0	同法人内、放課後等デイサービスから代表者が参加し、情報共有しています。	業務の都合で参加できないこともあります。今後は積極的に参加したいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	0	ご利用の際にはお迎えに来ていただくことをお願いし、担当職員がお話をさせていただいています。	これからも、何でも話していただけるような関係性を築き上げていきたいと意識しています。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	1	法人で年1回、どなたでも参加できる研修を実施しています。	研修へは、ご利用者様の参加は少ないのが現状です。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	0	契約時には、管理者が丁寧に説明させていただきます。	今後も丁寧な説明に努めさせていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	0	手紙を配布し、現状の支援の達成状況とご要望について、確認させていただいています。	利用者さんご本人の意向に関しては、職員の想像で補っているところが多いと感じます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	1	0	説明しながら手渡しし、同意を得るようにしています。	時間の兼ね合いで、内容については充分にお伝えできていない部分もあるように感じます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	0	相談事に関しては、経験豊かな職員が親身になってお話をさせていただきます。	これからも、職員は親身になってお話を聞き、情報共有にも努めさせていただきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	3	保護者様の負担増加を懸念し、保護者会などの開催はしていません。	過去には事業所に保護者様を招いての活動もあったので、今後の情勢を見ながら開催を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	0	ご意見には真摯に、そして即時対応することを心掛けています。	今後も皆様からのご意見は、大切にさせていただきます。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	0	月に1回のペースで、お便りを発行しています。園の予定や活動の写真を、お届けしています。	今後はSNSの活用も必要ではないかとの意見が出ました。検討していきたいと考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0	記名されたものは必ずシュレッダーにかけようとしています。	今後も不用意な処分などに十分気を付けていくように、職員間で共有しました。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	0	構造化やマカトンサインの使用など、意思疎通のための配慮をしています。	意思疎通に関しては、常に個々に合わせた配慮が必要であるとの意見が出ました。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	3	地域の方を招待する活動には、取り組めていません。	過去には高齢者施設との交流もあったようなので、今後情勢を見ながら実施を検討していきたいと考えています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	0	各種マニュアルは策定し、確認・掲示することで、職員への周知を図っています。	訓練は実施していますが、状況の発信が十分でないように感じました。今後は、発信方法など検討していけたらと考えています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	0	法人策定のBCPIに則り、必要な訓練を実施しています。	上記に同じく、実施状況の発信が必要ではないかとの意見が出ました。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	0	法人作成の利用者登録カードという形で、状況把握に努めています。	最新の服薬状況など、情報共有に力を入れていきたいと思えます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	0	保護者様にアレルギーをに確認し、提供するおやつなどに注意を払っています。	今後も安全な提供に向け、担当職員が菓子袋を確認するなどの必要性が検討されました。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	0	安全計画を作成し、それに則って研修や訓練を実施しています。	職員間でも、安全計画などについての認識は差があるように感じました。今後も研修などを通し、理解を深めたいと考えております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	0	安全計画に基づく取組みについて、お手紙を配布し周知に努めています。	職員間でも安全計画に関する理解は、不十分な箇所があると感じています。今後も訓練など実施しながら、の様子をご家族とも共有していきたいと思えます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	0	作成しています。事業所会議でも取り扱い、情報の共有に努めています。	情報共有のスピードに関しては、ネットを活用するなど、より早くする方法があるように感じられました。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	0	虐待防止の研修に、全職員が参加しています。	あかりの想いを大切にしながら、今後も職員間で啓発し合いながら支援を続けていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	0	個人に合わせて必要性を検討し、個別支援計画に記載しています。	今後も、支援現場として必要な計画の作成に努めます。